

ゴブリンたちに囚われた
姫騎士エルフに待つのは…?

様々な種族が生きる幻想の世界――

その一員であるエルフたちは
立ち入る者を感ずす
『迷いの森に囲われた国にて
ひっそりと暮らしていた』

だが森の恵みを狙う
亜人連合軍が
エルフの国に大規模侵攻を開始

亜人たちの侵攻を許すな!!
皆のものかかれ――!!

これに対して王家エルフの
姫騎士エリシアが指揮をとり
全面戦争となる

膨大な魔力を持つエルフたちの勝利は
確実なものと思われていたが――

姫騎士陵辱

～陥落の監獄～







うう…
ここは…？

私は捕まったのね…
くっ…！ 早く脱出して
皆の安否を確認しなきゃ…！

手錠がされてる…！
でもこのくらいの拘束…っ！
魔法の力で…！



えっ…？
魔力が吸われて…！？



はあああつ！

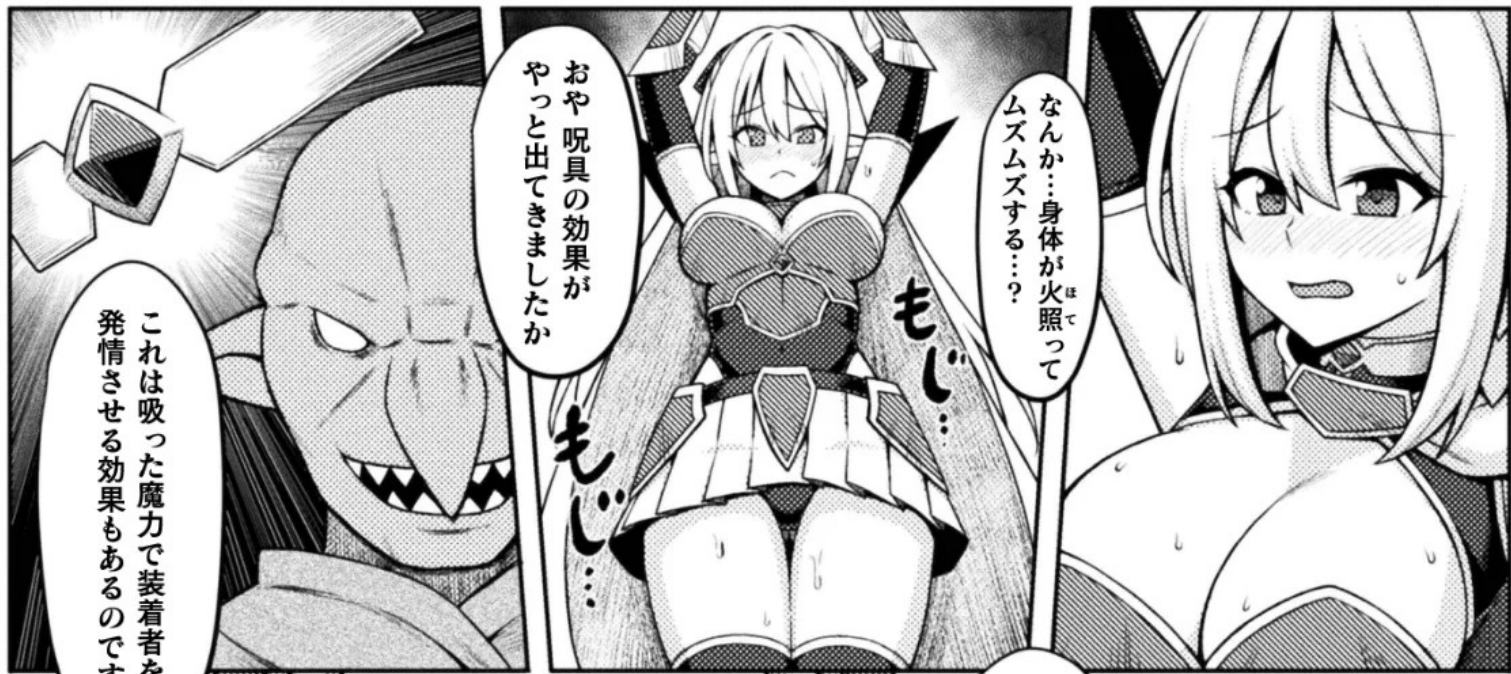


そうそう
あなた
貴女の強力な魔力は呪具で
無力化させてもらいましたよ
さて…観念して迷いの森の抜け方を
白状してもらえると助かるのですがね…



ふふふ…
お目覚めですか
牢屋の居心地はいかがです？





なんか…身体が火照ってムズムズする…？

おや呪具の効果が
やっと出てきましたか

これは吸った魔力で装着者を
発情させる効果もあるのですよ

もじ…
もじ…

さて尋問の準備も整いました
下品に股を開き懇願なさい



そんなこと
できるわけ…っ！

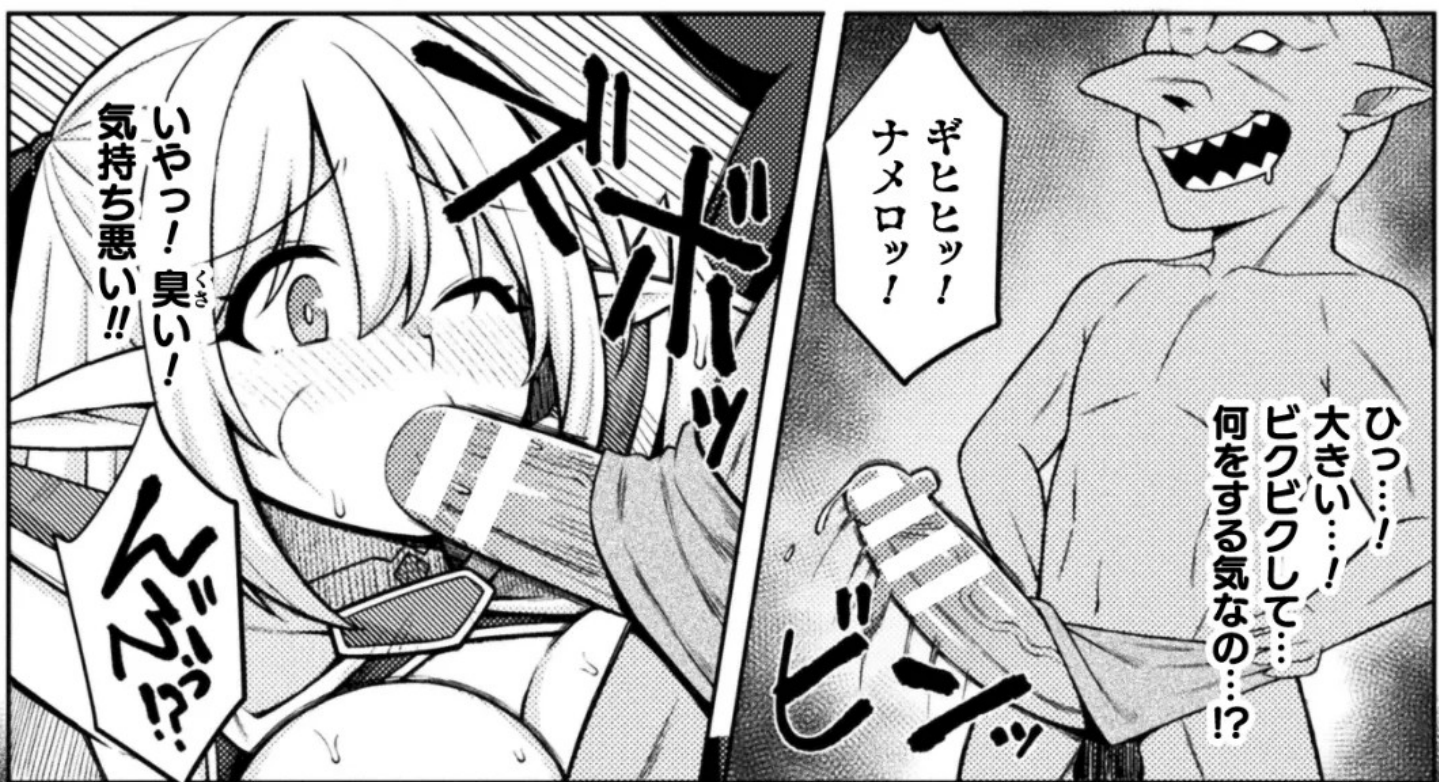
くっ…！

素直に従わないと
部下の安全は
保証できませんよ？



ばかあ

ここは従って脱出の機会を
窺うしか…！



ギヒヒッ!
ナメロッ!

ひっ...!
大きい...!
ビクビクして...
何をする気なの...!?

いやっ! 臭い!
気持ち悪い!!

ズボッ

ビッ

んぐッ



ズボッ

んぐッ

下等なゴブリンに
なんの抵抗も
できないなんて...!
でも部下のため...
耐えていれば
脱出のチャンスが
くるはず...!

ギョッ

んぐッ

んぐッ

グッ

ギョッ





グハハ…
マンロアロアロ!

ぐちゃ…

まって…!
そこはっ…いやあっ…!



いやあぁ!!

いやっ…!

薄汚いゴブリンのアレが
私の中に入ってきてる…!



グヒッ!
ケツアナ!

お尻!?
そんなの無理!
入れる所じゃない!



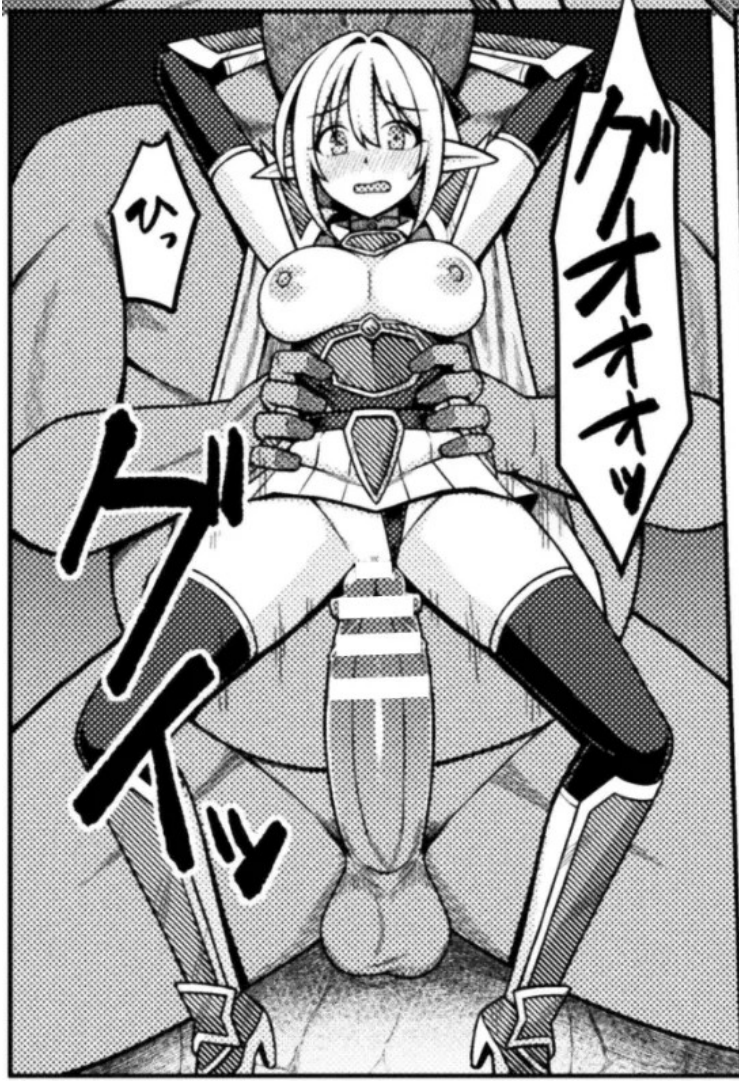
ギヒッ!
ケツダセ!

んうう!?



ゴブリンのがお尻の中にも
入って...!?
うぐう...っ苦しいっ!







うんうん!!?



んぐ…っ♡
お腹が広がってえ…♡
ここの程度…っ♡

ほほうではこれを見ても
強がっていられますかな?



ああぐ…っ
くるし…っ

大きすぎる…!!
お腹がはち切れそう…!!



そんな…部下たちが…
既にゴブリンたちに
陵辱されて…



すみませんねえ…
部下には粗相のないよう
言い聞かせていたのですが
我慢ができなかったようで

ここは…!

んあっ

んあっ

んあっ



んあっ♡

我慢してたのは私だけ…?
みんな気持ちよさそうに
チンポを受け入れてる…?
私もこの快楽に
溺れてもいいの…?

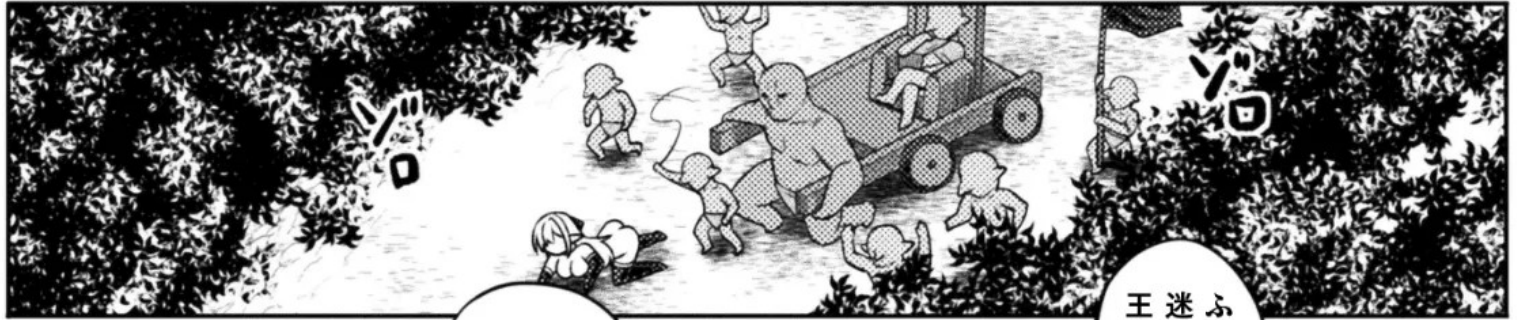
貴女が強がって
守っていた部下たちは
既にゴブリンのチンポに
夢中になっていたんですよ
やるせないですねえ?

ぐちゃん

ぐちゃん







END